

楓の森アップデート

学校教育目標：夢を持ち 自ら考え よりよく行動できる児童の育成



合志市立合志楓の森小学校
学校だより 第9号

令和5年(2023年)10月12日
文責 校長 佐藤 政臣

6年生は、10月3日～4日、長崎方面に修学旅行に行きました。出発式の校長あいさつでは、修学旅行が有意義だったと思えるようにするために、次の3つの話をしました。

- ①「旅行中はプラスの言葉をたくさん使うこと」
- ②「現地の様子をしっかり見て、聴いて学ぶこと」
- ③「公共の心をもって行動すること」

「一人一人の心遣い・心配りによって最高の思い出となる修学旅行にしましょう」と話しました。この話のとおり、立派な態度で1泊2日を過ごすことができました。

平和講話・平和集会 ～ 平和を誓う ～

まず、陸門良輔さんの被爆体験講話を聴きました。陸門さんは、お母さんのお腹にいたときに、被爆（爆心地から3.3km）されました。現在でも難聴で不自由な思いをされています。子どもたちは、メモを取りながら真剣に話を聴くことができました。

次に、平和集会をしました。折り鶴を献鶴した後、黙とうし、平和を誓いました。



フィールドワークによる現地学習

そして、ボランティアガイドさんが同行してフィールドワーク（浦上天主堂、如己堂、永井隆記念館、山里小学校、爆心地公園、平和の泉）に行きました（私は、6年4組の4班といっしょに行きました）。

最後に、ボランティアガイドの芳川忠美さんは、被爆者で僧侶の吉田



勝二さんの言葉を引用して、「平和の原点は、人の痛みがわかる心をもつこと」と言われました。子どもたちは、うなずきながら聴いていました。

楽しみにしていたハウステンボス

2日目は、ハウステンボスで過ごしました。計画的にまわられた班もあれば、そうでない班もあったようです。班での自由行動は楽しかったことでしょう。



修学旅行での学びをこれからの学校生活に生かしてほしいと思います。

科学展入賞 おめでとう

令和5年度科学展には、多くの児童が作品を出品することができました。入賞したみなさんおめでとうございます。ここで、各賞に入賞されたみなさんをご紹介します。

- 熊本県優賞 3-2 田嶋仁稀さん
- 熊本県良賞 2-1 鶴田彩華さん
- 金賞 2-3 竹本樹生さん 3-4 田中健翔さん
5-1 内田賢吾さん 5-2 大迫奈々さん
6-2 馬場時子さん 6-4 大塚陽太さん
- 銀賞 4-3 磯畑莉乃さん 5-1 山崎蘭さん
5-3 目久美志侑さん 5-3 橋口あかりさん
6-1 石田日向子さん 6-1 村上杏月さん
6-3 村上寧々さん 6-3 渡辺さくらさん
- 銅賞 2-2 前田紘弥さん 2-3 長友希穂さん
3-3 伊藤陽希さん 4-1 吉田ももさん
4-2 吉田千那子さん 5-1 工藤咲和さん
5-1 坂本椿さん 5-1 前田琴葉さん
5-2 前田結愛さん 5-2 松崎丈一郎さん
5-3 林優花さん 6-1 池末蒼太さん
6-1 野中蒼介さん 6-1 満木陽登さん
6-1 岩下蒼汰さん 6-1 宮本悠月さん
6-2 平田織羽さん 6-3 河野律斗さん

こつこつと何日もかかって仕上げたのだろう、という苦労が作品から伝わってきました。来年もぜひ挑戦してください。

学校行事や子どもたちの学習の様子につきましては、毎日ホームページを更新していますので、ご覧下さい
<https://es.higo.ed.jp/kaedenomori/>



楓の森小 HP